国語科学習指導案　　単元名「　学級討論会をしよう　」

富岡市立高瀬小学校　６年　３組　指導者　金子由季
令和元年　６月１４日（金）第３校時　６年　３組教室

１　単元の構想

(1)　身に付けさせたい資質・能力および 児童の実態

	身に付けさせたい資質・能力	児童の実態
知識・技能	・意見や質問のよりよい述べ方や，言葉の選び方に関心をもっている。	多くの児童は，自分の立場をはっきりさせて意見を述べることができる。しかし，互いの立場や考えを理解し合い，必要に応じて妥協したり合意したりすることができる児童は少数である。
思考力・判断力・表現力	・自分の主張・根拠と対比しながら聞いている。 ・話題に対する肯定・否定両方の立場で自分の考え方，感じ方をもっている。 ・会議の順序や進め方の調整，対立の調整などが必要なことを理解し，話し合っている。	児童は，第５学年で話し手の意図を捉えながら聞き，自分の意見と比べるなどして考えをまとめる学習を行ってきている。学級活動においても，互いに考えを出し合いながら話し合う経験をしている。しかし，肯定・否定に分かれて主張する，両者の主張を聞いて意見をまとめるという，ディベート形式の討論会は初めて経験である。
主体的に学習に取り組む態度	・討論の形式や話題に興味をもち，積極的に参加しようとしている。	学級活動での話合いや，各教科でのグループ活動では，積極的に自分の考えを発言する児童が多い。

(2) 目標

互いの立場や意図をはっきりさせながら，疑問点を整理して自分の意見を言ったり，質問をしたりして，討論することができる。

(3) 評価規準

【関心・意欲・態度】

・討論の形式や話題に興味をもち，積極的に参加しようとしている。

【話す・聞く能力】

・自分の主張・根拠と対比しながら聞いている。

・話題に対する肯定・否定両方の立場で自分の考え方，感じ方をもっている。

・会議の順序や進め方の調整，対立の調整などが必要なことを理解し，話し合っている。

【言語についての知識・理解・技能】

・意見や質問のよりよい述べ方や，言葉の選び方に関心をもっている。

(4) 単元計画および指導方針

時間	ねらい	評価項目（評価内容及び評価方法）	【学びの必要性】なぜこのことを学ぶのか？	「文章構成」・「要点」・「文末表現」の視点から
1	討論会の流れを追うことで，討論会のねらいや準備について知り，学習の見通しをもつことができる。	討論会の進め方や話題に興味をもち，積極的に参加しようとしている。【発言】	学級討論会に向けて，どんな学習が必要か見通しをもたせるため。	
2	討論会のＣＤを聞き，話し合うことを通して，主張の仕方や質問の仕方などを理解することができる。	音声資料を聞いて，討論の進め方を理解し，よりよい主張の仕方，質問の仕方について気付いている。【発言・ノート】	学級討論会で，より説得力のある意見を述べられるようにするため。	・理由は〇個あります。一つは～です。もう一つは～です。 ・～からです。　　・例えば～ ・～と，～と思います。（仮定）
3	討論会のＣＤ聞きながら，討論に参加しているつもりで聞き方の練習を行うことを通して，聞くときに大切なことや気をつけたいことを理解することができる。	ＣＤの聞き取りを通して，討論を聞くときに大切なことを理解している。【発言・ノート】	討論会を通して，適せるな主張や質問，判断を行うことができるようにするため。	（肯定）楽しい学級文庫 （否定）学習に役立つ本を読む場 など二つの立場の違い。
4・5	学級討論会に向けての準備をすることを通して，討論の話題に対して自分の考えをもつことができる。	・話題に対して，肯定・否定の両方の立場に立ち，自分の考えをもっている。 ・話題に対して，資料や情報を集め，主張に対する確かな根拠をもっている。 ・相手の予想される主張は何かを考え，それに対する意見や質問を考えている。【ワークシート・観察】	肯定・否定の両方の立場に立って話題を捉え，学級討論会での役割意識をもたせるため。	・主張は明確か。 ・主張と理由，根拠の関係は明確か。 ・第２時の学習を生かした工夫があるか。
6・7・8	討論会の形式に沿って話し合うことを通して，よりよい討論の聞き方や主張の仕方を理解することができる。	・自分の考えの根拠をはっきりさせ，相手の立場を考えながら話している。 ・発言者の主張と根拠を自分の意見と比べながら聞いている。 ・討論会の意義と，よりよい討論会の聞き方や主張の仕方を理解している。【ワークシート・発言】	学級討論会という実践の場で，肯定・否定という対立する立場で論点をはっきりとさせながら，ルールに則って討論し，納得できる解決策をまとめるため。	・主張（一番伝えたい事）をはっきりとさせているか。 ・理由や根拠が明確か。 （事例，経験，アンケート，実験） ・話し方が適切か。
9	「伝えにくいことを伝える」を読み，どのような伝え方をすれば相手に受け止めてもらえるかについて考えることができる。	・伝えにくいことを伝えるとき，どのようなことに気を付けるとよいかを理解している。【発言・ノート】	言いにくいことを言わなければならない場合で，感情的にならずに立場や考え方を理解し合って，必要に応じて妥協したり合意したりする力を身に付けさせるため。	相手に正確に，冷静に受け止めてもらうために ・言葉や表現を考えて伝える。 ・伝えるときの表情や声の調子を考える。 ・相手の主張を聞き，話し合うことも大切。